

平成25年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

## 小 論 文

(生物資源科学部 地域環境科学科)

### 注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は6枚、下書き用紙は3枚である。  
指示があってから確認し、解答用紙6枚と下書き用紙3枚のすべての  
所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはならない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

小論文問題紙

生物資源科学部 地域環境科学科

次の課題1、2、3のうち2つを選択し、選択した課題に対して解答せよ。なお、解答を必ず課題ごとに指定された解答用紙に記述すること。

解答用紙は各課題2枚ずつである。選択しなかった課題の解答用紙も提出すること。下書き用紙は解答の下書き、アイデアのメモ、レイアウト、文章の構成等、自由に用いてよい。下書き用紙も提出すること。

課題1

次の文章の「発見・発明の10項目の条件」の中から、あなた自身が研究をする上で特に重要だと思う点を2点もしくは3点あげ、それらが特に重要だと思う理由を600字から800字の間で説明しなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

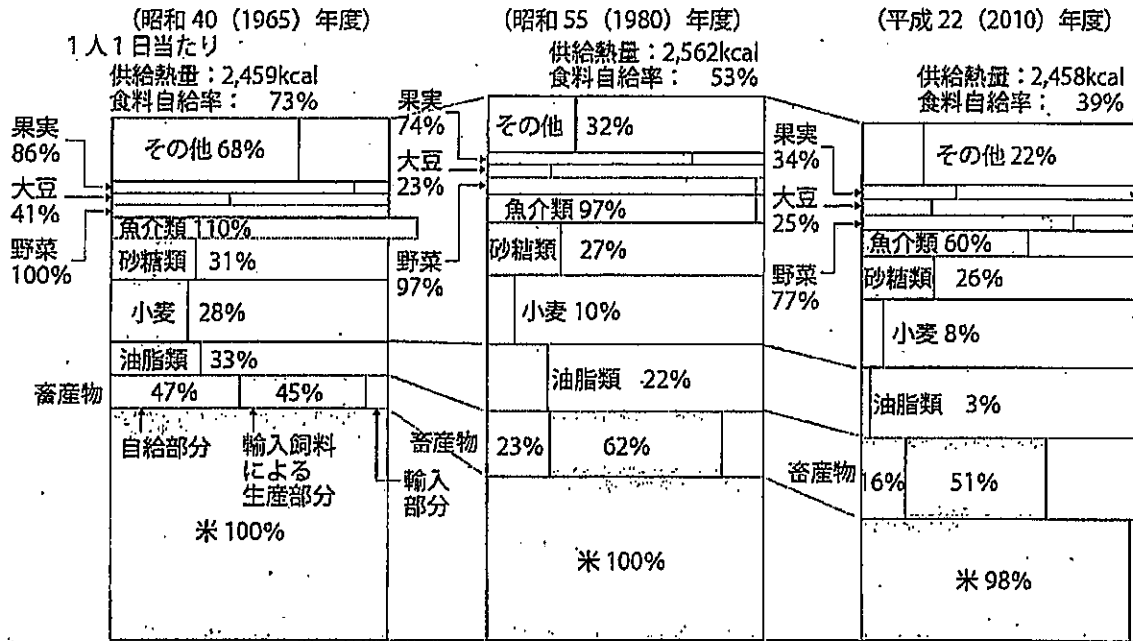
出展：2012/10/22 付日本経済新聞朝刊「私の履歴書 根岸英一」より

**課題 2**

次の図を見て、以下の問いに答えなさい。

課題 2-1：図から昭和 40 年から平成 22 年まで、我が国の食糧自給率や食生活の変遷をまとめなさい。  
(400 字以内)

課題 2-2：現在の我が国の食料自給率を踏まえ、今後どのようにすべきかあなたの意見を述べなさい。  
(400 字以内)



PFC 熱量比率：

(P) 12.2% : (F) 16.2% : (C) 71.6%    (P) 13.0% : (F) 25.5% : (C) 61.5%    (P) 12.9% : (F) 28.7% : (C) 58.4%

資料：農林水産省「食料需給表」

注：PFC 熱量比率は、3 大栄養素であるたんぱく質 (Protein)、脂質 (Fat)、炭水化物 (Carbohydrate) の比率

図：日本の食料自給率（供給熱量ベース）の品目ごとの推移

縦軸：1 人 1 日当たりの品目ごとの供給熱量（カロリー）、横軸：品目ごとの自給率

用語：供給熱量ベースの総合食料自給率：「日本食品標準成分表 2010」に基づき、重量を供給熱量（カロリー）に換算した上で、各品目を足し上げて算出。これは、1 人・1 日当たり国産供給熱量を 1 人・1 日当たり供給熱量で除したものに相当する。

（出典：平成 23 年度 食料・農業・農村白書 農林水産省 一部改変）

**課題 3**

地域環境科学科は環境調和型社会の確立を目指していますが、この「環境調和型社会」とはどのような社会を意味していると思いますか。また、あなたはそれにどのような貢献ができると思いますか。あなたの将来展望をまじえて、800 字以内で説明しなさい。